

会報・会誌委員会

一 発行のねらい

小県上田教育会機関誌として、会誌・会報の編集発行を通して、教育会の事業内容を会員に紹介する。また、会員の論説・研究・随想などを適宜掲載し、相互の理解や研鑽の場を提供する。

二 編集方針

1 会報「上小教育会報」267号、268号の発行

- (1) 上小教育会の決定事項、事業の内容や会暦等を会員に報告する。
- (2) 学習指導委員会・調査研究等委員会の計画と研究の歩みを掲載する。
- (3) 教育現場における今日的課題やあり方等の会員の意見を掲載する。
- (4) 会等を考慮して、会員に依頼した執筆原稿を掲載する。
- (5) 前会員、郡外の先生方からの寄稿も掲載する。

2 会誌「上小教育」68号の発行

- (1) 教育会総会、菅平夏季大学、論説、研究、教育実践、随想、同好会の歩み、支会だより、会暦、視察報告等を掲載。
- (2) 支会、学校等を考慮し、執筆原稿を集め掲載する。

※会報・会誌共に、教育の専門職に携わる教職員の機関誌にふさわしい、質の高いものにする。

三 発行と発行内容

1 会報「上小教育会報」267号 8ページ 令和6年7月19日発行

○巻頭言 創立百四十年を節目に、教育会のさらなる発展への第一歩を 青木 辰夫 会長

○退職者だより

・お世話になりました 橋詰 文彦 先生

・定年延長を迎えて 石川 武 先生

○退職者・感謝状贈呈者

○今年の抱負

○「新会員の抱負」「上小教育会総会～会員意見発表、講演会感想」

「教育の広場」「教師塾研修報告」を掲載

○学習指導研究委員会・調査研究等委員会の研究計画、委員名簿、上小教育会役員・年間計画

2 会報「上小教育会報」268号 8ページ 令和6年12月6日 発行

○巻頭言 全員が主体となって活躍できる小県上田教育会 中野 裕頭 副会長

○菅平夏季大学感想

○学習指導・調査研究等委員会研究報告

○「教室の窓」を掲載

3 会誌「上小教育」68号 約300ページ 令和7年3月上旬発行予定

- 巻頭言 橋詰 文彦 会長
- 教育会総会
記念講演 『知るを愉しむ』 小平 奈緒 さん
- 菅平夏季大学
歴史 「上小地域の虚空蔵山」 笹本 正治 先生
教育 「子どもの「差」に向き合う算数授業が人間関係力を育てる」 田中 博史 先生
自然科学 「御岳山とチバニアンローカルな地質調査がグローバルな研究に結びつくまで」
竹下 欣宏 先生
芸術 「落語で資本論～世知辛い資本主義社会のいなし方」 立川 談慶 先生
スポーツ 「子どもの時期にやっておくべき運動」 三宅 良輔 先生
哲学 「〈西田〉と〈田辺〉の間の木村素衛—京都学派教育哲学が私たちに問いかけること—」
西村 拓生 先生
- 郡外通信
- 以上の他に「論説」「研究」「教育実践」「随想」「同好会の歩み」「寸感・文芸」「支会だより」「視察報告」「会暦」「石井鶴三美術資料室だより」等を掲載した。

四 反省とまとめ

- 1 今年度は、小学校6名と中学校2名で活動を行った。原稿依頼と原稿回収は支会ごとに行うため、各支会1名の委員は必要。
- 2 今年度より、学校代表アドレスへのメール配信のみで原稿依頼を行った。そのため、これまで原稿依頼文を印刷し、封入して宛名を書く作業にかかっていた手間を省くことが出来た。
- 3 推進係と委員長が連絡を取り合い、相談を重ねたことで作業が確実に進んだ。
- 4 会報は年2回（7月・12月）発行し、会誌は年1回（3月発行予定）であった。教育会役員・世話係・代議員・執筆会員・教育会館職員・信教印刷の方々の協力により充実した機関誌となった。心から感謝申し上げます。